

電子情報通信学専攻	研究分野	情報ネットワーク	Lab. ID EI20
研究室Webサイト	http://www.li-nlab.org/		
研究課題の概要			
<p>ICNL(情報ネットワーク研究室)は、新しいアプリケーション、ネットワークングテクノロジー、分散コンピューティング、およびインテリジェンスの融合に焦点を当て、新たな社会的ニーズ(Society 5.0、IoT、CPSなど)を満たす将来の通信インフラストラクチャテクノロジーを設計します。主な研究分野は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メタバース、デジタルツイン、デジタルヒューマン 2. 量子ネットワーク、耐災害ネットワーク、無人航空機・ロボットとネットワークの融合、情報中心ネットワーク 3. 大規模言語モデル、機械学習 4. ブロックチェーン、データセキュリティ・プライバシー 			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>研究テーマは学生ごとに教員から提案しますが、未来アプリケーション・ネットワーク・分散処理・人工知能に関する研究であれば、学生から教員に提案することも可能です。研究室では毎週セミナーを開催し、研究の進捗状況を確認し、学生に次のステップの研究を提案しています。さらに、オンデマンドの個別ミーティングもあります。学生は、論文を読んだり、問題を見つけたり、アイデアを交換したり、国際的なワークショップ、会議、ジャーナルで論文を書いたり、提出したり、発表したりすることが奨励されています。他の大学の研究室との合同会議もあり、国研である国立情報通信研究機構や世界有数の企業のNVIDIAなどとの共同研究の機会もあり、インターンシップの機会もあります。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>各学生には、パーソナルデスクスペースが提供され、一台のデスクが与えられます。研究室では、学生にメタバース・ビッグデータ処理のため複数のGPU(RTX 6000Ada, RTX 6000, RTX 5000)を備えた高性能ワークステーションを共有しています。学生は、休日を除いて、10:00から17:00の間に研究室にいることを勧めます。ウェルカムパーティー、忘年会、合同合宿は基本的に毎年開催されます。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>与えられた問題を解決する能力は当然重要であるが、新しいアプリケーションの作成・新しい問題の発見に向かう好奇心・能力および問題を挑戦・解決する能力がより一層重要だと考えられます。研究を通じ、創造性豊かな学習・研究能力、問題解決能力および論理的思考力を学生達に身に付けます。また、学会で発表させるとか、英語での論文投稿、国際学会への参加、学術論文の発表、連携研究者達との交流などで、研究能力と国際的視野を持つ人材に成長させます。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	李 睿棟 <lrd *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		